

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などを質問するもので、定例会に限って行なわれます。
 今回の一般質問は6月11日から13日までの3日間で行い、9人の議員が質問に立ちました。掲載原稿は質問者本人が要約したものです。

詳細はホームページで動画配信しています。

順番	質問者	質問事項
1	楠本 千秋	① 一般質問の経過及び進捗状況とこれからの取り組みについて
2	濱洲 大心	① 庁舎建設について ② 選挙管理委員会の管理体制について ③ 市立体育館について ④ 自治医科大との「高齢者見守り協定」について
3	勝木 幸生	① 平成26年度施政方針（6月補正予算）について
4	鎗光 秀孝	① 有害鳥獣対策について ② 次世代育成支援対策について ③ 図書館整備基本構想について
5	赤木 武男	① 市長のマニフェスト（施政方針）について
6	池田 裕之	① 庁舎建設について ② 世界遺産登録について ③ 職員の意識改革について
7	蓮池 良正	① よりよい天草市づくりをめざして ② エネルギーの調達方向と環境に配慮したまちづくり ③ 子ども子育て支援制度の2015年度本格実施を前にして ④ コメの減反制度廃止方向への危惧とTPP参加を阻止すべき
8	浜崎 義昭	① 市民の命を守る取り組みについて ② 水産業の振興、天草の宝物を作り出すために ③ 地域を担う人づくりについて
9	浜崎 昭臣	① 商工費について ② 世界遺産登録について ③ 市長の兼職について ④ 外郭団体、各資料館館長及び公民館館長等の任命、再任について

新庁舎の建設と今後の工程について



濱洲大心 議員

濱洲 新庁舎建設においては、熊本県が推進するアートポリス事業では行わない考えを市長は持つておられるようですが、県との協議はどのような状態にあるのか。

市長 アートポリス事業での庁舎建設は取りやめる。しかし一方的に事を進める訳にはいかない。今後、県及び設計業者と協議を進める。
濱洲 現在の設計委託業者との契約を破棄した場合、すでに完成している基本設計分の委託金4,860万円はどうなるのか。

市長 すでに設計が終わっている分は支払うことになるが、総事業費を大幅に削減することで議会、市民の皆様のご理解を頂きたい。
濱洲 新庁舎の建設予定地は、従来の予定地に変更せず進めていくのか。

市長 工期的な面も考えて当初の計画どおりに進めていく。
濱洲 庁舎建設の今後の工程はどのように考えておられるのか。
市長 あくまで私の考えであるが、今年度中に基本設計の修正、変更を行い、来年度は実施設計に着手

し、平成30年度中に完成させ、平成31年度に開庁することを、想定している。
【選挙管理委員会の管理体制について】
濱洲 平成18年より本年にかけて、投票所の統廃合により120カ所から95カ所に減り、投票率も減少してきているが、どのように分析するか。

選管 投票所が減ったから投票率が下がったとは言えない。分析は困難である。
濱洲 投票所までの移動手段がない交通弱者への配慮は考えられないか。
選管 関係機関や関係部署と連携を取りながら調査研究を行う。

【新市立体育館にステージを】
濱洲 市立体育館に簡易式ステージをお願います。
地域振興部長 ステージが必要である事は認識している。購入も含め関係部署と検討を行う。



市民の健康対策・AED・ボランティアのポイント制・祇園橋の保存・定員適正化計画について



楠本千秋 議員

【市民の健康対策について】

楠本 健康診断、人間ドック受診の3年刻みを2年刻みに出来ないか。
市長 申し出は十分理解できる。平成27年度からの福祉計画の中に入れての事が出来ないか検討する。

楠本 大矢崎の緑地公園について一箇所のトイレで大変困っていると思いますが、トイレの増設について。

市長 トイレの件は、県に要望している。本年度中に県の考えにめどを付け、県で無理なら、もう待っている段階でないの、残った方法でやってみよう。

楠本 市長の決断力で解決をお願いします。

【AED(自動体外式除細動器)】

楠本 AEDを通して命の教育は出来ないのか。
教育長 AEDを通した命の教育の狙いは、「救急救命に関心を持つことや、AEDの操作ができ、積極的に使う態度を身につけること」である。今後も生涯にわたる命の教育の基盤となるよう努めていく。

【ボランティアのポイント制】

楠本 健康運動に参加する市民へのポイント制の導入について。
市長 健康運動への参加者は市民の約3割で、来年度から仕組みを創設しポイント制の導入に取り組む。

【祇園橋の保存】
楠本 祇園橋の保存に向けた市の対応について。
市長 絶対守らなければならない文化財と認めている。地域の皆様のご意見を聞き県と協議していく。

楠本 祇園橋を守る会の皆様のご意見もお聞き頂き、一日も早く安心できる取り組みをお願いする。
【定員適正化計画】
楠本 職員採用を増やせないかお尋ねする。
市長 次年度は15名で決裁している、本年度定員適正化計画を見直し、20名の10年スパンで200名採用が望ましいと考える。



平成26年度施政方針について 庁舎建設及び仮称「イルカセンター」について



勝木幸生 議員

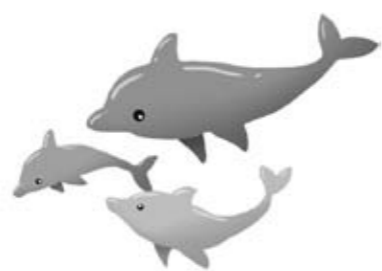
【庁舎建設について】

勝木 「新庁舎建設については白紙に戻し、一から始める」とする市長の計画の修正点・考え方について。

市長 機能性・効率性を重視した庁舎とし、建設に要する費用の削減に努める。また、防災拠点にふさわしい機能を備えた安全性・耐震性の高い庁舎とする。基本理念・方針は修正しないが、庁舎の規模については定員適正化計画・行政改革を踏まえ、支所の空きスペースの利用も考えながら決定したい。建設地としては、決定されている現庁舎の場所を尊重したい。

【仮称「イルカセンター」について】

勝木 イルカウォッチングの観光客は23年度の答弁では9万7千人、25年度は8千人増加し、10万5千人と実績がある。イルカウォッチングの拠点施設が必要ではないか。
観光文化部長 イルカウォッチングは本市を代表する観光資源に位置付けており、今後は観光客の利便



勝木 平成23年度、五和支所が中心となったプラン、イルカウォッチングビジターモール基本構想の進捗状況はどうなっているのか。
観光文化部長 拠点周辺の整備は進んでいるが、構想そのものは進んでいない。市長の施政方針の中でも「仮称」イルカセンターの整備を取り上げておられることから、整備に向け関係者、関係団体、県との協議や調査を進める。また、登録要件にもよるが「道の駅」構想も合わせて考えている。